



# のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 24 年 2 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



大漁に沸く市場風景 撮影場所：宇出津港

## 1 2月議会の内容

- 一般質問 P 2 - 5
- 議案質疑 P 6
- 委員会報告 P 7

平成 23 年第 4 回能登町議会定例会は、12 月 8 日から 16 日までの 9 日間の日程で開催されました。

8 日には、議案 34 件が上程され、議案質疑の後、各常任委員会へ付託されました。13 日には町政一般質問、16 日には、継続審査となっていた認定 14 件が決算特別委員長からの報告、質疑・討論を経て、認定されました。続いて、議案 34 件の採決が行われ、原案のとおり可決されました。続いて、議会議員定数等検討特別委員会委員長から発委第 2 号「能登町議会議員定数条例の一部を改正する条例について」が追加提出され、質疑・討論を経て賛成多数で可決されました。

# 第27号

# いっぱん質問



市濱等 議員

## 問 下水処理に地域格差はないか

松波地区の工事は適切か。道路周辺の住宅に激しい揺れが起きている。ウエルポイント工法に問題はなにか。地中が海面状態だ。対処ははっきりと。

小木浄化センター汚泥処理施設導入は発注前にもっと研究を。

浄化槽法定検査費用は二重払いだ。公共下水道処理と浄化槽との処理方法に格差がある。費用は町が負担を。

## 答 浄化槽と公共下水道の処理能力にほとんど変わりはない

上下水道課長 マンホール周辺、公共枘取り出し

管周辺が沈下している部分について、早急に舗装等修繕対処する。

小木浄化センター脱水装置については、珠洲の処理場を見学し、それよりも高機能のものを導入する予定である。

二重払いとの指摘については、車に例えると、浄化槽の保守点検はオイル交換などにあたり、浄化槽法に基づいた法定検査が車検にあたるものである。料金設定については県が設定している。

町長 浄化槽と下水道の処理能力にほとんど変わりはない。

## 【浄化槽法定検査】

浄化槽の使用開始後3ヶ月から8ヶ月の間に受ける7条検査(設置後1回)とその後、保守点検や清掃が適正に実施されているかを検査する11条検査(毎年1回)がある。

## 問 町の景気対策

建設談合問題で雇用不安が広がっている。町のみそぎは晴れた。財政は大変だが、今こそ公共整備・生活インフラの充実を。談合問題に対しては町の再発防止指導は大切だ。今後は公共事業の縮減、依存体質からの脱却が必要だ。地域の資源で自立し、公社民営化で民間の英知も取り入れて、町の景気の支えをしかりと。

## 答 合併特例債等を有効に、積極的に事業推進を図りたい

町長 石川県は12ヶ月の指名停止だ。長期の停止は地域の経済を悪化する恐れがある。町の公共事業は県と比較して非常に小さい。全体を支えきれないが、地域経済への悪影響を最小限に食い止めるため、従来以上の予算を組みたい。

## 問 消防職員の減員による今後の影響

奥能登広域圏事務組合に登録してある職員定数は、能登町だけが6名の減員となっている。

救急車到着まで、全国平均は6分であるが、能登町の遠方へは20分以上かかる所が多くある。救急救命が遅れることにより、患者の負担が大きくなる。また、重症になれば介護が必要となり、家族も仕事を休んだり負担が大きくなる。町としても、税収入が減つたりと、今後、医療費が町の一般財源にも影響してくと考える。

消防行政と医療・福祉行政は連携し、一体のものと考えて、今後の消防職員と救急救命士の増員は。



奥成壮三郎 議員

## 答 消防職員の増員は難しい

町長 今現在の状況では、増員はかなり難しいが、減らすことは考えていない。



町防災訓練にて



榎原安弘 議員

**問** 新年度予算編成と主要事業

新年度の予算編成にあたり、各課長に対して編成方針をどのように示したか。また、新年度の主要事業をどのように考えるか。

また、合併特例債の今年度末の進捗見込みと来年度の発行見込みは。

**答** 地域経済を考慮した公共事業と防災対策関連

町長 地域経済の疲弊を防ぐために公共事業の確保を図る必要があると思われるので、合併特例債等を有効に活用し、健全な財政運営を考慮するよう指示した。また、新年度の主要事業については、

ハード面では、能都中の改築、宇出津駅前再整備と松波の雨水対策。ソフト面では、防災対策関連と世界農業遺産関係を考えている。

企画財政課長 合併特例債の今年度末の累計見込みは、52億4000万円で、率にすると約44パーセントになり、来年度は8億円から10億円を見込んでいる。

**問** ふるさと農道羽生線の交通安全対策

3月に開通した「ふるさと農道羽生線」は国道249号との交差点で出会い頭の事故が発生している。今後事故が起きると予想される。交通安全対策は、また、林道や町道への入り口が数箇所あるが、案内看板を設置してはどうか。

**答** 信号機設置等は今後関係機関と協議する

町長 10月に警察署や交通安全協会と町で道路バ

トロールを実施し、対応済みのものもあるが、交差点の信号機設置等については、今後、警察をはじめとする関係機関と協議しながら整備したい。

**問** 後期高齢者医療広域連合の運営状況

町長は石川県後期高齢者医療広域連合の議員として能登町を代表して出席されているが、運営状況はどのようになっているか。

**答** 基金からの繰入も限界があり、保険料値上げも予想される

町長 平成22年度は実質収支が6億6000万円の赤字となっているが、基金からの約10億円の繰入である。平成24年から25年度は保険料の改定年度であるので、基金からの繰入も限界があり、保険料の値上げをしなければならぬ状況である。

**問** 防災対策でラジオ電波難聴対策解消

大災害が発生した時には、停電し、テレビが見れなくなる。そして電話も通じなくなるので、ラジオが唯一の情報手段である。

当町では、山間部を中心に石川県の放送電波が弱く、聞き取りにくい地区があるようなので、調査して難聴対策を講じられないか。

**答** 難聴地区があれば、NHKに連絡を

総務課長 大災害が発生した時には、必ず停電というものがつきもので、情報の入手手段としてラジオが最も有効な手段である。NHKによると当町では、難聴地区はないとの回答であるが、もしあれば、連絡をもらえば確認し、対処したいとのことである。



小路政敏 議員

**問** 今後の有線テレビ運営方針

以前に町長は、有線テレビの業務を民間委託とすることを示していたが、その方向性について。

また、自主放送の部分で行政関係の活動ばかりが多く取り上げられているが、民間の行事の中では、地域の特性や社会貢献度の高い活動も多く、ビデオ機器の貸し出しなど、民間の活動内容を放送出来る仕組みはないのか。そして、町民の方が自主放送の制作から参加しやすいような体制にできないか。

**答** 一部委託を含め、充実した放送業務を維持

町長 今年度、能都地区のケーブルテレビ関連工事終了するものの10年以内には、柳田地区、その後内浦地区の再整備が予想されることから、施設管理の基幹的などころは、町が責任をもって管理運営し、放送業務や施設管理を一部民間に委託することも可能かと思う。

自主放送の部分では、昨年は53件の投稿ビデオがあり、充実した放送ができたことに感謝している。自主放送の制作から携わられるような環境づくりについては、担当課で今後の課題としたい。



有線テレビの職場体験



志幸松栄 議員

**問** 来年度に向けて町長  
発想事業はないのか

来年度の行政事業のあり方と町長発想事業はあるのか。また、事業仕分けについて。

**町長** 発想事業はないのかについては、町民の安全・安心を確保するためさらなる防災関連事業に力をいれる。そして、町民の皆さんと知恵を出し合い、協議して、地場産業の活性化に繋がる施策に力をいれたい。また、補助事業と単独事業の仕分けについては、限られた財源の中で、少しでも有利な補助事業を活用していきたい。

**問** 来年度に向けての  
政治姿勢

町議会議員に対し、要望事項はないのか。職員に、要望・連携をどのように考えているのか。また、能登町となつて、この町をどう思っているか。

**答** 地域の实情に応じたまちづくりを推進

**町長** 町議会議員に要望事項はないという質問に対しては、私はトップダウンによる政治を良しとは考えていない。住民の参画による地域の实情に応じたまちづくりを推進する。職員に対しては、職員は全体の奉仕者であることを改めて認識し、公務員として公共の利益の増進のために全力を挙げた職務に取り組んでもらいたい。そして、この町については、まだまだ道半ばであるが、必ずや良い町になってくれると思っている。



鶴野幸一郎 議員

**問** 希望ある新年度  
を迎えられるか

町長のこの一年の自己採点は。また、町民の幸福度は何点くらいと考えるか。そして新年度に希望を与える施策はあるか。また、町長は、この一年、県議選で支援候補の敗北や、クロマルハナバチ事業の頓挫など多くの挫折を味わった厳しい一年ではなかったか。

**答** 防災関連事業など産業の活性化と雇用対策に力を入れる

**町長** 合併当初、危機的だった町財政は改善されつつあるが、東日本大震災の影響で、防災関係で対応に迫られるなど、自



クロマルハナバチ

己採点にはなじまないと思う。そして住んで良かったと思える町づくりを行っていくことが、町民の幸福度に繋がっていくと考える。来年度は、防災関連事業とともに、雇用対策に力を入れたい。挫折感ということだが、これも私の人生だと考えている。



酒元法子 議員

**問** 不妊治療に対する  
治療費等のサポート

不妊治療費に対する治療費とサポート体制の拡充について。

**答** 負担軽減及びメンタル面のケア拡充

**町長** 特定不妊治療費の助成は、平成22年度から独自の助成を開始し、県の助成と町の助成を合わせると自己負担はゼロとなり、負担軽減が図れたと思っている。一般不妊治療については、平成18年度から自己負担の2分の1を助成しているが、自己負担があることから今後、要望があれば検討していきたい。メンタル面のケアについては、役場職員の対応

と併せPRを行い、精神的負担と思わない環境づくりをしていきたい。

**問** 消防機能の拡充

当町の消防機能の拡充及び、関連施設の移転計画について。

**答** 消防機能の移転と消防救急無線のデジタル化を進める

**町長** 町には消防庁舎が3庁舎あり、中には耐震基準を満たしていないものもある。また、海岸近辺に位置するため、津波を想定すると、移転策の必要があると考えている。移転については、立地に適した用地の選定確保を含め、消防救急無線のデジタル化が予定されている平成28年度までに精査したい。消防無線のデジタル化については、指令センター方式を整備基本方針として、奥能登広域圏事務組合の構成市町で調整して進めていきたい。



金七祐太郎 議員

**問** 今年度の除雪対策

今年度の除雪対策で、除雪車両や業者と人員確保の状況は。町保有の除雪車両を臨機応変に民間に貸し出せないか。また、今後、業者が保持することが難しくなることが予想されるため、町の保有台数を増やし、民間に貸与する考えはないか。

**答** 除雪車両の確保、凍結防止など万全を期す

**町長** 今年度の除雪体制は、民間の借上げ機械74台、町有機械10台の計84台で前年比1台減である。距離は373キロメートルを除雪する。民間の委託先は、昨年より3社増えて52社となる。また、

通学路が主な歩道除雪は28路線、31.8キロメートルで、子供達の安全を図る。主要幹線の急勾配や急カーブなどには凍結防止剤を散布するなど除雪対策には万全を期す。

また、民間機械の老朽化などによる厳しい状況が見込まれる場合、町が除雪車の保有台数を増やし、業者に貸与する方向も検討する。

**問** 旧松波城庭園の利活用

旧松波城庭園は2月に国指定の名勝となるがこの指定を受け、町としての今後の利活用や構想は。

庭園は保護のため埋め戻される。名勝だからやはり見える形で大きなパネルなどの展示スペースを設けて欲しい。

**答** 旧松波城庭園保存管理基本計画策定委員会を設置

**町長** 平成24年度はこれ



旧松波城庭園（枯山水）

までに出土した遺物やパネルを展示。また、シンポジウムも開催したい。平成24年・25年度に大学や専門家などの学識経験者と地元関係者で旧松波城庭園保存管理基本計画策定委員会を設置し、庭園を含めた城跡の今後の整備に向けた基本計画をまとめる。

**教育長** まずは実施設計を策定。平成26年度以降の補助を受けながら町民憩いの場、子供達の歴史文化の学習の場として素晴らしい庭園を後世に残していきたい。

**決算特別委員会委員長報告（要旨）**

去る、10月17日以降、6回の委員会を開催し、審査を行った。その結果、各会計14件とも全会一致でそれぞれ認定すべきものと決定した。

審査過程で議論された、今後の課題・改善事項は、歳入面では、過疎債や合併特例債の有効かつ慎重な発行が求められる。町税の収納率向上や、また、公共下水道等の接続率向上には、接続出来ない理由など、その事情にも斟酌し、関係課等の連携を密にして、より具体的な対策、対処法を確立すべきである。

歳出面でも同様に、都市計画に基づく事業についても、効果の薄い事業の見直しが求められる。また、遊休公共施設の再利活用、休止、売却等も検討すべきであるが、遠島山公園等の文化・健康・教育ゾーンの財産の有効な活用を期待し、町縁の芸術家の作品展を開

催するなど、人々が集い喜ぶ仕掛けに再挑戦を図ることも提案したい。また、能登が世界農業遺産として登録されたことを契機として、「春蘭の里」を核として、当町の祭り等伝統文化を活かし、交流人口の拡大に繋げるべく取組まれない。

地域交通事業として、デマンドタクシーや町営バスなど、交通弱者に対する公共福祉交通的確実に推進されたい。

また、有線放送事業では、可能な限り外部委託するなど、安定的な情報提供と経費削減に繋がらないか検討されたい。

宇出津総合病院について、医師・看護師不足を過疎地の宿命とあきらめず、積極的に人材確保に邁進されたい。

国産クローマルハナバチの試験飼育事業について、規制されるはずのセイウハナバチが輸入規制には至っていない現状や現

場の懸命な努力にも敵わず、飼育生産率も伸び悩んでいることを冷静に直視し、職員の身分を守ることを附帯条件として、この事業の一時休止、もしくは撤退の判断を早急に結論すべきと指摘する。

以上、今後より一層、行財政改革に取り組み、審査の結果が翌年度の予算編成や執行に活かされることを強く望み報告とする。



審査の経過と結果を報告する鍛冶谷委員長



# 議案をチェック

## ■ 新平悠紀夫議員

今回提出された指定管理にクロマルハナバチ事業が入っていない。自治体が飼育し、販売するという能登町最初の大事な事業はどうなるのか。

## ■ ふるさと振興課長

輸入規制されたセイヨウオオマルハナバチが規制されず、加えて東北のハウス農家が大震災により壊滅するなど、市場価格が下落し、販路も伸びないなどの理由から休止もやむを得ないと考えている。

## ■ 町長

生産委託なので指定管理にはのせていない。休止の可能性はあるが、国の補助を受けて整備した施設なので、研究は続けていきたい。職員は他の部署に振り分ける。

## ■ 向峠茂人議員

宇出津総合病院の特別室使用料金の改定について、ある程度割安な料金で利用者の多い個室を新設するのが良いと考えるが、今回の増室について料金、利用率を示せ。

宇出津総合病院事務局長 特別室A室は風呂・トイレ・テレビを設置。B室は今回ウォッシュレットトイレを設置した。C室の個室はトイレが無い。個室料金に関して、近隣公立病院と大きな差異はない。また、病院の都合で個室に入院する場合は個室料金をとらない方針で対応する。個室の利用率は、約84パーセントで、金額的には2100万円であった。

## ■ 山岸昭夫議員

防災行政告知施設事業1億4600万円について説明せよ。

## ■ 広報情報推進課長

柳田地区の告知器は使用開始から約10年を経過しており、能登町全域で告知器の方式を統一して防災力を高めたい。告知器の宅内設置1400件、屋外の拡声装置64基。公共ネットワーク整備工事10箇所の整備をしたい。

## ■ 鍛冶谷眞一議員

スポーツ振興事業団を株式会社ふれあい公社に移行するが、スポーツ少年団、体育協会等の管理はどうなるのか。移行のために団員達に不都合が生じることは許されない。

## ■ 教育委員会事務局長

現在スポーツ振興事業団にお願いしている内容と同等を維持する。スポーツ少年団や体育協会の方に迷惑がかららないように対応する。

## ■ 市濱等議員

談合問題で指名停止処分があるが、町民の不満や行政執行上都合の悪いことはないか。

## ■ 建設課長

約8割の工事について出来るだけ早い時期に発注を終えており、不都合はなかったと考えている。

## ■ 志幸松栄議員

不動産売払い収入約489万円の詳細は。

## ■ 監理課長

遊休町有地の売払いに努力を重ね、小木高瀬などの16件の分の町有地で、当初予算の400万円に加え、889万円を予定している。

## ■ 鶴野幸一郎議員

社会資本総合交付金は、道路橋梁工事などにあてると思うが、町民にとって、不安な橋もある。その調査や整備計画について問う。

## ■ 建設課長

町には現在301の橋がある。国の補助を受け、平成21年度に点検調査を終えた。その結果、損傷が著しく安全に支障をきたす恐れがある、いわゆるレッドカードの橋が2

## ■ 奥成壮三郎議員

石川学校版環境ISO事業費20万円が県補助金として歳入で入っているが、歳出の方では15万円になっている。その差額はどうしてか。

## ■ 教育委員会事務局長

1校あたり25万円が当初予算に計上していたが、県の事業確定により1校あたり20万円に減額となった。その差額分を補正予算に計上した。

橋、補強の検討を必要とするいわゆるイエローカードの橋が74橋で、合わせて76橋であり、全体の26パーセントを占める。逆に損傷が認められない橋は12パーセントで、残りの62パーセントは損傷が少なく適切な時期に補修すれば良いという結果であった。レッドカードの2橋については、1橋については今年度事業に着手、残りの1橋は今回の補正予算で設計委託して、来年度着手したい。イエローカードの橋は補修済みの橋もあるが、順次補修していきたい。

【議会議案 発委第2号】  
「能登町議会議員定数条例の一部を改正する条例について」  
提出者 議会議員定数等検討特別委員会  
委員長 山岸昭夫

## 改正要旨

現行の能登町議会議員定数18人を14人に削減する改正案

## 議会議員定数等検討特別委員長 山岸昭夫より発

委第2号が追加提出され、趣旨説明の後、質疑・討論を経て賛成多数で可決された。

## 質疑者

鍛冶谷眞一議員

## 反対討論者

大谷内義一議員

向峠茂人議員

## 賛成討論者

河田信彰議員

椿原安弘議員

この条例は、初めての期日が告示される一般選挙から適用する。

# 総務委員会

向峠茂人(委員長)

國盛孝昭(副委員長)

椿原安弘・奥成壮三郎

宮田勝三・鍛冶谷真一

この式典に参加し、「のとキリシマ」の記念植樹を行い、流山市からは「ツツジ」が送られて来る予定で、庁舎前などに記念植樹を計画している。

●**奥能登広域圏事務組合の規約変更**

●**消防無線をデジタル化する**

●**職員の減額**

●**職員人件費の減額**

●**職員の減額**

# 教育民生委員会

南 正晴(委員長)

市濱 等(副委員長)

金七祐太郎・久田良平

新平悠紀夫・大谷内義一

この式典に参加し、「のとキリシマ」の記念植樹を行い、流山市からは「ツツジ」が送られて来る予定で、庁舎前などに記念植樹を計画している。

●**奥能登広域圏事務組合の規約変更**

●**消防無線をデジタル化する**

●**職員の減額**

# 産業建設委員会

酒元法子(委員長)

小路政敏(副委員長)

河田信彰・志幸松栄

山岸昭夫・鶴野幸一郎

この式典に参加し、「のとキリシマ」の記念植樹を行い、流山市からは「ツツジ」が送られて来る予定で、庁舎前などに記念植樹を計画している。

●**奥能登広域圏事務組合の規約変更**

●**消防無線をデジタル化する**

●**職員の減額**

# 10月から12月の主な議会活動

- 10月7日 町戦没者追悼式
- 10月10日 町民大運動会
- 10月13日 県町村議会議長会臨時総会 奥能登広域圏事務組合研修
- 10月16日 町防災総合訓練 きのこと祭り・全国凧あげ能登大会
- 10月17日 決算特別委員会（10月26日まで）
- 10月19日 議員全員協議会・臨時議会・広報編集特別委員会
- 10月26日 能登空港利用促進議員連盟視察
- 10月28日 第3回町社会福祉大会 久田船長碑前祭
- 10月30日 流山市民祭り
- 10月30日 教育民生常任委員会管外視察（11月1日まで）
- 10月31日 総務常任委員会管外視察（11月2日まで）
- 11月3日 町顕彰条例表彰式
- 11月5日 町文化祭
- 11月9日 真脇遺跡第1期史跡整備事業完成式典
- 11月10日 岩手県雫石町議会行政視察（来町）
- 11月11日 野々市市誕生記念式典
- 11月15日 常任委員会（産業建設・教育民生）  
奥能登クリーン組合議会定例会
- 11月16日 第55回全国町村議会議長会全国大会
- 11月24日 能登地区町議会連絡会・RDF広域処理組合議会定例会
- 11月28日 議員全員協議会・臨時議会
- 12月5日 議員全員協議会
- 12月8日 議会定例会（開会）・各常任委員会  
教育民生常任委員会
- 12月12日 議会（一般質問）
- 12月13日 総務常任委員会
- 12月15日 議会定例会（閉会）
- 12月16日 宇出津第1分団消防ポンプ車入魂式
- 12月17日 山本勉氏叙勲受章祝賀会
- 12月18日 能登総合開発促進協議会視察研修（12月27日まで）
- 12月26日



12月定例会での議場風景



能登地区町議会連絡会視察  
（海洋深層水施設）

## 次の定例会は3月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、是非、傍聴にお越しく下さい。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

### 編集後記

残寒厳しき折、お見舞い申し上げます。

昨年は、日本各地で災害が多い年でもありました。議会でも防災体制について多く取り上げられました。防災体制の充実はもとより、地場産業の振興や少子高齢化・過疎化の対策には、町民の皆様にとって多くの情報の共有が必要だと考えます。そのためにこの議会だよりも、身近で親しみのある紙面づくりに努めます。

今度とも、町の課題に真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

広報編集特別委員会

委員 小路政敏

#### 広報編集 特別委員会

委員 長國盛 孝昭

副委員長 金七祐太郎

委員 市濱 等

小路 政敏

山岸 昭夫

鍛冶谷眞一